

# Aichi あいちの学童保育

県連協ニュース 2023-No. 5

2024年2月10日発行  
愛知学童保育連絡協議会

TEL: 052-872-1972 FAX: 052-308-3324  
Email: aichigakudou@gakudou.biz



## 安全計画の策定は順調にすすんでいますか？

2024年4月1日より、安全計画の策定が義務付けられています。みなさまの地域での策定状況はいかがでしょうか？また、安全計画やマニュアルは作るだけでなく、職員に周知共有がなされ、定期的に今後も更新が必要となります。また、保護者や児童への安全教育もあわせてすすめていく必要があります。

安全計画は各マニュアルに基づき作成がされますが、項目も多く、多岐にわたります。補充や修正には大変時間も要することも想定されるため、策定に間に合うよう各学童保育所で保護者・指導員・子どもとで協力しながら早急にすすめていきましょう。

えがおプロジェクト（愛知県連協で2011年に立ち上がった東日本大震災学童保育支援のプロジェクト）では、2023年全国学童保育研究集会・特設分科会にて配布資料として、えがお版安全計画と危機管理マニュアルの情報提供を行いました。地域より活用したいとの声があり、このたびダウンロードができるようになりました。

### 【ご利用にあたって】

「2023年全国学童保育研究集会・特設分科会B 配布資料、＜資料1＞学童保育の防災～災害への備えを考える、＜資料2＞〇〇学童保育所危機管理マニュアルモデル」の著作権は、元・名古屋短期大学教授の「野津 牧」氏と「えがおプロジェクト」に帰属するものとします。

資料を学童保育所（放課後児童クラブ）における「安全計画」や「危機管理マニュアル」等作成や研究のために、参考または利用にすることについて制限はもうけませんが、無断掲載・商用利用等金銭のやり取りが生じる利用については禁止をします。ただし、事前にえがおプロジェクトの許諾を得た場合には、この限りではありません。



フォームの質問にご回答いただき、回答送信後に表示されるURLからGoogleDriveへアクセスし資料（Wordファイル）をダウンロードしてください。

## 自然災害学童保育支援募金のお願い

令和6年1月1日の能登半島地震で被災された皆さま、ならびにご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被災地の1日も早い復興をお祈り申し上げます。

全国学童保育連絡協議会では、「自然災害 学童保育支援募金」を受け付けております。ぜひとも広く学童保育関係者に、募金へのご協力の呼びかけをお願いいたします。

「自然災害学童保育支援募金」の振込先  
【郵便振替の場合】・口座記号番号：00170-9-635754  
・口座名称：全国学童保育連絡協議会  
【銀行振り込みの場合】・ゆうちょ銀行・〇九店・当座預金  
・口座番号：0635754  
・口座名称：全国学童保育連絡協議会  
（ゼンコクガクドウホイクレンラクキョウギカイ）

## 補助金コラム



### 「2024年度の国の予算要求について」

2023年度までの国の補助金（子ども・子育て支援交付金）体系は、①国の「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準（以下 基準）」通り、学童保育指導員を配置した場合（開所時間中二人以上配置）と②「基準」に基づく放課後児童支援員一人のみ配置した場合の二段階に分かれています（イメージ図参照）。

【拡充イメージ（児童数36～45人、年間開所日数250日以上の場合）】

	補助要件	放課後児童支援員	補助基準額（案） （1支援の単位当たり年額）
創設	常勤の放課後児童支援員を2名以上配置した場合。	*2名とも常勤	6,552千円
① （現行）	放課後児童支援員（常勤・非常勤問わず）を2名以上配置（※）した場合	*常勤・非常勤問わず	4,868千円
② （現行）	放課後児童支援員（常勤・非常勤問わず）を1名のみ配置した場合	*常勤・非常勤問わず	4,088千円

※ ①の場合、放課後児童支援員2名のうち1名は補助員に代えることができる。

2024年度の予算要求では、常勤職員の拡充が示され増した（イメージ図参照）。単価等の詳細は現在出ておらず、3月までには出されると予想されます。

現状わかっていることは、補助金の体系が今までの二段階から三段階になるということです。ここで重要なのは、学童保育の実施主体は市町村であるため、イメージ図で示されている「創設」の補助金を各学童保育がもらうためには、市町村が実施しないともらえないということです。市町村は今まで①を実施していた場合、イメージ図にある「補助基準額（案）」の「4,868,000円」を学童保育の補助金とした場合、3分の1である「1,622,666円」を算出していましたが、「創設」を学童保育の補助金とした場合「2,184,000円」の負担となり、一学童保育年間「561,334円」の増になります。この「561,334円」を支援の単位で掛けた金額が市町村の予算増になります

ので、2月の議会で2024年度予算に反映されているか、6月議会で補正予算として反映されないと予算執行がされません。市町村と話しあう必要があります。

また、イメージ図の「補助要件」に示されている「常勤」の定義が今のところ示されていません。イメージ図の「①（現行）」には「（常勤・非常勤問わず）」と「非常勤」が示されていますので、おそらく1日6時間（もしくは年間1,440時間）以上働く学童保育指導員が二人以上雇用されていることが要件になると想定されますので、各学童保育（支援の単位）で学童保育指導員の働き方を就業規則を含め整理（確保）しておく必要があります。

これらを準備し、学童保育の運営と学童保育指導員の給与保障の為に「創設」される補助金をもらいましょう。

## 第40回あいち学童保育研究集会の お知らせ

1月29日(月)あいち学童保育研究集会の申込みがスタートしました。

今年は、現地7分科会、オンライン5分科会の計12分科会を設定しています。また、現地分科会の方は、午前の全体会も現地で聴講できますので是非お越しください。

締め切りは2月18日(日)ですが、分科会には定員があります。希望の分科会が見つかりましたらお早めに申込みをお願いします！

詳細、申込みは、[ホームページ](#)をご確認ください。

約半年行われた実行委員会でも色々な意見をいただき、相談しながら進めてきました。あとは、当日「参加してよかった！」と言ってもらえる研究集会になるよう、実行委員会も事務局もラストスパート中です。地域の皆さまに「研究集会、行ってみよう！」と参加を呼び掛けていただきますよう、ご協力ください。目指せ！600人！！

(事務局長 三輪)



「Zoom」背景を設定して、あいち研究集会を盛りあげましょう！

## 全国学童保育指導員学校西日本 三重会場 開催のお知らせ

【日時】2024年6月9日(日) 10:00~16:30  
【会場】津市公共施設アストプラザ(津市羽所町700アスト津4F)またはZoom

2024年度の指導員学校は、現地会場とZoomに分かれて開催します。

午前の全体講座は、代田盛一郎さん(大阪健康福祉短期大学)をお招きして、「子どもにとってのあそびの大切さ(仮題)」を学びます。

午後は10講座(現地会場4、Zoom会場6)に分かれて専門的な内容を受講することができます。

リーフレット(申込書)は、3月中旬ごろに配布されます。まずは、当日のスケジュールを確保しましょう。

## ほいく誌コラム



### 「機関誌の役割」

日本の学童ほいく2024年1月号

日本の学童ほいく1月号は学校との連携の特集号でした。こどもをまんやかに、小学生の生活を考える際には、3つの場として、家庭、学校、学童保育、が挙げられます。この中で、今回の特集は、学校と学童保育の連携がテーマとなっています。ある学童保育と付き合いのある学校は、学区内または隣接学区の特定の小学校だけとなるのが普通だと思います。逆に小学校側としても、学童保育としては、おそらく特定の1つの学童保育、または、企業のやっている学童保育、そして放課後子ども教室との関係のみでしょう。学校側も放課後を担う側も、いろんなパターンを経験していないため、手探りで関係性を作っていると思われます。そのように、固定された1対1の関係では、なかなか新たな手がかりが見つからないと思います。

今回の特集では、小学校の先生によるもの、学童保育指導員によるもの、保護者からの体験談、そして、全国連協による解説も載っていました(教科書的でとっつきにくかったですが)。大学の研究者や行政の通達に基づく背景の理解、逆の立場の目線、同じ立場の保護者や指導員による実践の例を知ることで、最短距離で、その子にとってのベストな学校連携の形態を見いだせるのではないかと思います。このような特集を組めるのも、それぞれ違った立場の読者が集まっている、連絡協議会という場の機関誌であるからです。全国連協から個々の会員である保護者や指導員に直接的な働きかけができるイベントは、全国学童保育研究集会や全国学童保育指導員学校しかありません。全部に出ても年に3日で、1%弱です。残り99%の日々は、連絡協議会と会員との接点がないことになってしまいます。月刊の機関誌であるほいく誌を通じ、連絡協議会からの発信、会員からの投稿を受けることで、年間を通じて、全国連協と関係者がつながることができます。

ほいく誌というのは大事なコミュニケーション手段であるとあらためて実感しているところです。ぜひともたくさんの方の保護者の方、指導員さんに購読いただき、また、日ごろの思いを投稿いただき、全国の仲間と共有していただけたら、と思います。

(県連協役員 保護者 OB 藤田)